

第4章 中間評価

1 中間評価の方法

(1) 中間評価の趣旨

本計画の計画期間の中間時点である令和元年度に、本計画の目標の達成状況を把握し、これまでの進捗状況を分析・評価などを行い、施策などの一層の推進を図るために、中間評価を実施しました。

(2) アンケート調査の実施

健康づくりに関する市民の意識や行動、生活習慣などについて、調査票の記入式によるアンケート調査を実施しました。

アンケート調査の概要

調査対象者	気仙沼市在住の20歳代から80歳代の男女のうち無作為抽出した6,006人
調査期間	平成30年12月4日～12月25日
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収状況	回収数 2,630人 回収率 43.8%

(3) 庁外協議体における検討

平成30年度に実施した市民アンケート結果及び事業の取組状況を踏まえ、団体の職員、一般公募による市民及び関係行政機関の職員で構成する「気仙沼市健康増進計画評価・策定委員会」において、健康指標の進捗状況等の中間評価を行い、今後の取組の方向性などについて検討・協議し、改訂版を策定しました。また、「気仙沼市健康づくり推進協議会」において、了承されました。

(4) 庁内における検討

本計画の検証・評価、健康づくりの推進に向けた基本方針を共有するとともに、施策・事業の整理、計画案の内容などについて検討・協議を行いました。

(5) パブリックコメントの実施

本計画の策定にあたっては、計画素案に対して市民から幅広く意見を伺うため、パブリックコメントを実施しました。

パブリックコメントの実施結果

意見の募集期間	令和2年2月1日～2月 20 日まで
意見の件数	0件

2 中間評価の結果

本計画策定時に分野別に掲げた目標値について、平成 30 年度に実施した市民アンケート結果や各目標項目に関連したデータ等から、ベースライン値と現時点での現状値を比較し、以下の評価判定区分により、評価しました。

評価判定区分

評価	(目標に対する達成状況)
A	目標値に達した
B	目標値に達していないが、改善傾向にある
C	変わらない
D	悪化している
E	評価が困難

評価にあたって

- ・評価判定区分は、健康日本 21(第二次)中間評価及び第 2 次みやぎ 21 健康プラン中間評価判定区分を参考にしている。
- ・一見目標値に達したと見えるが、有意差検定※により有意差が認められないものは、「B」又は「C」の評価としている。

※有意差検定:アンケート調査結果の分析時評価の判断目安として利用される検定。
有意差とは偶然や誤差で生じた差ではない、「意味の有る差」(片側 P 値<0.05)のことを意味します。

評価結果

評価項目		ベース ライン値 (H28)	現状値 (H30)	策定時の 目標値 (R05)	評価 (R01)
栄養・食生活					
3食ともバランスのとれた食事をして いる人の割合の増加	3歳児	18.8%(H27)	18.4%	25.0%	C
	成人	53.3%	50.6%	70.0%	D
朝食をとらない人の割合の減少	20歳代男性	23.1%	30.4%	15.0%	C
	20歳代女性	17.0%	25.0%	10.0%	C
野菜を毎食食べる人の割合の増加		26.7%	26.3%	35.0%	C
塩分に気をつけている人の割合の増 加	3歳児	63.0%(H27)	58.6%	70.0%	C
	成人	65.2%	64.3%	80.0%	C
身体活動・運動					
運動を習慣的に行っている人の割合 の増加	男性	31.6%	32.4%	40.0%	C
	女性	28.3%	25.2%	40.0%	D
喫煙					
たばこを吸っている人の割合の減少	20歳代男性	35.9%	25.3%	20.0%	C
	30歳代男性	48.3%	44.2%	30.0%	C
	40歳代男性	45.3%	43.0%	30.0%	C
	20歳代女性	9.8%	7.4%	3.0%	C
	30歳代女性	9.6%	9.7%	5.0%	C
	40歳代女性	16.7%	11.7%	10.0%	C
家族がいる場所で喫煙する人の割合の減少		27.6%	26.2%	10.0%	C
慢性閉塞性肺疾患(COPD)を知っている人の割合の増 加		10.7%	15.4%	30.0%	B
こころの健康					
ストレスを解消できている人の割合の増加		72.8%	64.9%	80.0%	D
悩みなどを気軽に相談できる相手がいる人の割合の 増加		74.4%	73.4%	80.0%	C
自死による死亡率(人口10万対)の減少		19.3(H26)	13.9	減少	A
飲酒					
節度ある適度な飲酒量を知っている人の割合の増加		41.4%	41.6%	50.0%	C
毎日飲酒している人の割合の減少	男性	31.5%	33.4%	15.0%	C
	女性	6.8%	7.0%	3.0%	C

評価項目	ベース ライン値 (H28)	現状値 (H30)	策定時の 目標値 (R05)	評価 (R01)	
歯と口腔の健康					
むし歯のない3歳児の割合の増加	66.9%(H27)	76.2%	80.0%	B	
12歳児の一人平均むし歯の本数の減少	0.95本(H27)	0.87本	0.7本	C	
歯周病検診の受診率の向上	9.9%(H27)	9.4%	12.0%	C	
自分の歯を有する人の割合の増加	60歳で24本以上	23.2%	33.6%	B	
	80歳で20本以上	20.0%	19.8%	C	
過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加	45.5%	45.9%	50.0%	C	
生活習慣病					
ヘモグロビン A1cが高い人の割合の減少	66.2%(H27)	70.1%(H29)	50.0%	D	
肥満の人の割合の減少	小学生	14.4%(H27)	13.2%(H29)	10.0%	C
	中学生	16.4%(H27)	15.5%(H29)	10.0%	C
	40歳代男性	32.9%(H27)	39.1%(H29)	25.0%	D
	40歳代女性	25.9%(H27)	29.4%(H29)	20.0%	D
特定健康診査受診率の向上	43.8%(H27)	43.2%(H29)	65.0%	C	
血圧の正常値を知っている人の割合の増加	78.9%	80.5%	80.0%	C	
血圧が高い人の割合の減少	48.7%(H27)	55.9%(H29)	40.0%	C	
LDLコレステロール値が高い人の割合の減少	51.8%(H27)	51.3%(H29)	50.0%	C	
脂質異常症を知っている人の割合の増加	31.3%	37.9%	55.0%	B	
メタボリックシンドロームを知っている人の割合の増加	50.1%	50.7%	80.0%	C	
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少	29.7%(H27)	29.8%(H29)	23.0%	C	
胃がん検診受診率の向上	19.0%(H27)	18.1%	50.0%	D	
肺がん検診受診率の向上	35.5%(H27)	33.2%	50.0%	D	
大腸がん検診受診率の向上	33.8%(H27)	32.0%	50.0%	D	
乳がん(マンモグラフィ)検診受診率の向上	20.6%(H27)	20.8%	50.0%	C	
子宮がん検診受診率の向上	26.2%(H27)	24.8%	50.0%	D	
健康観					
健康と感じている人の割合の増加	75.3%	76.9%	80.0%	C	

なお、一部の目標については、達成状況や気仙沼市の現状及び気仙沼市健康増進計画評価・策定委員会における検討内容を踏まえ、見直し、追加を行っています。(詳細は第5章を参照)